

東北次世代がんプロ養成プラン セミナー実施報告書

| | |
|--|---|
| (セミナー名称) | |
| 講演者 | : 柳本 千景 |
| 所属 | : 青森県立中央病院 |
| テーマ | : エンド・オブ・ライフケア |
| 担当者氏名: 佐藤 富美子 教授 | 所属: 東北大学大学院がん看護学分野 |
| 内線: 7926 | Email: fsato@med.tohoku.ac.jp |
| 1. 実施年月日: | |
| 令和 3年 12月 14日 | |
| 2. 開催場所: | |
| ZOOM | |
| 3. 関連分野: | |
| エンドオブライフケア、看護 | |
| 4. 対象者: | |
| 一般の方々、医療従事者、学生等、どなたでも | |
| 5. 参加人数: (お分かりの範囲で内訳をお知らせください。教員、学生など) | |
| 52名 | |
| 6. 成果: | |
| <p>今回の講演会は、コロナ禍のためオンラインシステムを利用した講演会となった。講演者は、本学の修士課程の修了生であり、がん看護専門看護師コースに在籍していた。本日は、エンドオブライフケアについてご講演いただいた。</p> <p>講演では、エンドオブライフケアの概要について説明があり、臨床実践における倫理的問題について提議された。実践においては、具体的な看護ケアとして清潔ケアをしっかりと行う大切さについて、事例をもとに説明があった。また、死に遭遇したことの無い人が増えている中での関わり方についても説明があった。</p> <p>質疑応答では、介護職の育成に従事している参加者より介護職におけるエンドオブライフ教育状況について感想があった。エンドオブライフケアに従事するのは、看護師だけではなく患者を取り巻く全ての者である。より良い人生を生き抜くことを支える支援者は、患者に真の意味で寄り添うことが求められる。</p> | |

【当日の会場の様子などの写真がございましたら、添付ください】



 **青森県立中央病院**

- 都道府県がん診療拠点病院
- 一般病床 679床 感染病床 5床
- 年間の入院患者数 のべ 20万人
- 平均在院日数 12.0日
- 年間の外来患者数 のべ 30万人
- 年間の手術件数 約4800件（うち全麻2500件）
- 救命救急センター利用患者数 約14400人（年間）



shiori

佐藤

藤田浩美

桑嶋 凛